

平成23年9月30日

各 位

株式会社 三井住友銀行

リゾートトラスト株式会社の「SMB C環境配慮評価私募債」を買受け

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、リゾートトラスト株式会社（代表取締役社長：伊藤 勝康）の発行する「SMB C環境配慮評価私募債」を買受け致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価私募債」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する私募債です。

今回対象となった、リゾートトラスト株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境ビジネスと環境コミュニケーション」「環境保全対策の取組の状況」などの面で高い水準であると判断され、企業経営において優れた環境取り組みを実施されているとの高い評価となりました。

特に、①2011年度から環境報告書「ECO report2011」を新たに発行し、ISO14001（環境マネジメントシステム規格）認証取得ホテルの全客室に配布する等、環境問題に対する考え方や活動状況などの環境情報を開示するとともに、お客様の環境意識向上を図っておられる点、②ホテルを利用するお客様の食べ残し削減に向け、各レストランでの季節、時間帯毎の顧客層に応じた適正提供量に関する研究や、水使用量削減に向けた取り組み等、環境負荷削減のために地道な活動を展開しておられる点、③表彰制度等の実施により、環境問題に関連した社会貢献活動に積極的に取り組む従業員を評価する仕組みを整えておられる点等が高く評価されました。

なお、リゾートトラスト株式会社の発行する「SMB C環境配慮評価私募債」の買受けは、昨年に引き続き2回目であり、昨年の評価結果を受け、更なる改善や新たな環境取り組みの推進をされております。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



ホテル敷地内での農園作り



ゴルフトーナメントでの
グリーンキャンペーン



ホテルの屋上緑化

以 上